

一 般 質 問 総 括 表

(令和3年9月議会定例会)

No.1

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考
須藤典夫	1	「ふるさと納税」の利用者増対策を考える	町の財源の増収対策としてすぐに出来ることは「ふるさと納税」の制度活用である。 現状では平成27・28年度を境に寄付件数、寄付金額が減少してきている。担当課をサポートする「ふるさと納税推進プロジェクト室(クリエイター、食品会社などの専門家で構成)」を設置し、2億円程度を目標に取り組みはできないか。	
	2	ホットハウスカムの今後の方向性について	温泉施設の改築に約6億2千万円ということで説明を受けているが、将来への財政負担や町全体の人口減少を考えた上で、今後の方向性について伺う。	
大場洋介	1	災害に強い水道事業の運営について	① 地震発生時に断水が報道されることが多いが、水道設備の耐震化の現状はどのようになっているか。 また、水道事業計画における耐震化はどのような位置づけになっているか。 ② 水道事業における広域的相互応援体制はどのようになっているか。 ③ 被害を最小限に止めるための対策はどのようになっているか。	
	2	持続可能な地域交通の課題について	① 高齢者が運転免許を自主返納する場合も多くなってきており、高齢者の移動手段について町の見解は。 また、他自治体で実施しているデマンドタクシーや乗り合いバスの導入についてどのような考えがあるか。 ② 福祉タクシー事業(障害)の実績(直近3年間)と補助拡大について町の見解は。	

一 般 質 問 総 括 表

(令和3年9月議会定例会)

No.2

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考
寒河江宏一	1	金山町の介護行政について	① 現在の金山町の介護の状況について ア 高齢者数 イ 介護認定者数・認定率・認定別人数 ウ 受給(利用)実人数・受給率 エ 要介護度別の施設・在宅利用者数は オ 介護が必要となった主原因は何か ② 要介護者の割合が増し、サービスに要する経費が伸びる見通しにあると考えるが、対策は。 ③ 認知症の問題も深刻さを増している。 現状と施策の推進は。 ④ 軽度者への訪問・通所介護サービスは、介護保険給付から介護予防・日常生活支援総合事業へ移行の状況は。 ⑤ 災害弱者である要介護者への災害時の命を守るシステムと対応は。 ⑥ 最上管内での第8期介護保険事業計画(R3～5)の介護保険料の状況は。 ⑦ 第8期介護保険事業計画(R3～5)策定にあたって高齢者実態調査を行ったのか。 ⑧ 第7期介護保険事業計画(H30～R2)踏まえ、第8期介護保険事業計画(R3～5)策定にあたって見えて来たものは何か。 ⑨ 今後、金山町の介護行政の見通しと方向性について町長に伺う	
沼澤道也	1	廃校活用の展望	① 検討委員会後の動きはどうなっているのか。 ② 検討委員会の位置付けと委員に対する情報提供は必要なのか。	
沼澤道也	2	今後の町教育の展望	① 町教育(子育て)の課題をどう捉えているか。 ② 東成瀬村をモデルにとの教育行政の意向だったが、現状の課題と今後の対応は。	

一 般 質 問 総 括 表

(令和3年9月議会定例会)

No.3

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考
星川智子	1	グリーンバレー神室全体の今後の方向性について	<p>① 外部委員会を組織し今後の方向性をまとめるということだが、今後のスケジュールはどのようになっているか。 また、方向性(素案)をまとめる段階においても、町民の意見を反映させるべきと思うがどう考えているか。 グリーンバレー神室については、今後の方向性について関心を持つ町民も多く、外部委員会での意見の内容や進捗状況について随時、町民にお知らせするべきと思うがどのように考えるか。</p> <p>② シェーネスハイム金山の運営について、JR東日本を通しての集客数は、開業当初と現在を比較してどのように変わってきているか。</p> <p>③ ホットハウスカムロの源泉については2回掘削を行い現在に至っているが、営業当初と比較し湯量等はどのように変化しているか。</p> <p>④ グリーンバレー神室は、町にとって重要な観光資源の一つであり、町民の福利厚生としての意味を持つと考えるが、今後の方向性について町長はどのように考えているか。</p>	
早坂憲明	1	持続可能な町づくりについて	<p>① 第5次金山町総合発展計画が目指す町の将来像、その具現化のために6つの基本目標、施策の柱を掲げています。 この目標、施策の妨げになる事として想定されるものはないか。 また、持続可能な町づくりの土台は何であると考えているか。</p> <p>② 地方創生は、人口の回復したところに財源をつけるという事のようにあります。国策とは言いながらも、我が町で進めています農家の農地集積は、人口減少を加速させる要因になると考えられる。 農地集積の行く末は、どこにたどり着き、どんな姿になるのか。 農地集積や地方創生という国策によって、持続可能な町づくりを確実に歩んでいけるものと考えているのか。</p> <p>③ 親や大人達の事情によって「三つ子の魂百までも」という純粹無垢なる心が育つ環境にない子供達が増えている</p>	

一 般 質 問 総 括 表

(令和3年9月議会定例会)

No.4

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考
			<p>様に感じているか。</p> <p>また、我が町には「適時適育」という子育て理念がありますが、この成果検証はされているのか。</p> <p>④ 適時適育という子育て理念は、国の教育改革によって変化していくものなのか。</p>	
			<p>以下余白</p>	